ご意見

3/29 に参加した藤原庁舎での住民説明会において、環境保全協定を改めて結ぶことの説明を受けたが、│貴重なご意見ありがとうございます。 その騒音規制値が緩和され現行より 10dB 大きくなる点について、なぜ規制値が大きくなるのかを質問し たところ、納得できる説明ではなかったのでここに意見を記す。

説明会へのご出席ありがとうございました。ご意見につきましては今後の検討課題とさせていただきま す。

回答

1.騒音規制値は現行と同じであることを望む。

2.騒音規制値を現行より 10dB 大きくするのであれば、そうせざるを得ない相応の理由と、その規制値で も安心できる根拠を、地域社会に説明する機会を設けることを望む。

会場で受けた説明では、進出企業である豊田合成(株)の騒音測定結果に合わせて、市が規制値を緩和 したように聞き取れた。企業のコンプライアンス(法令遵守)の観点から騒音規制値に対するマージン(余|ざいませんが、進出企業を含む工業団地内の企業とも相談の上、今後の方針について協議させていただき 裕)を取りたい&rarr:騒音規制値を緩和させましょう、という経緯であったと聞いた。その説明では地域│ます。 住民の心象は損なわれてしまいます。企業の都合を優先して地域住民にマイナス面を負わせるのか?企業 がそれを要求したのか?市が慮(おもんぱか)って決めたのか?どうなのかと。実際私はそのように受け 止めたし、説明会場にいた人達もそういう印象を受けたと思います。

また、市が地域住民に対してそのような説明をしてしまって、企業に対する道義が通るのだろうか。企 業のメンツを潰すようなことになっていないのかと、心配もしています。企業 CSR (社会的責任)の観点 として、ステークホルダーである地域社会との共生、という見方からすると、騒音規制値の緩和要求は企 業のマイナスイメージになるだろう。そもそも、コンプライアンスを重視するという理由で、規制値の緩 和を求める考え方が、本末転倒な発想ではないか。CSR の理念から離れてしまっているのではないか。市 の説明では、そのように解釈される誤ったメッセージが、地域住民に発信されることになったのではない かと。

市には騒音規制値の再検討と企業との再交渉を望みます。騒音規制値の緩和は、市にとっても企業にと ってもマイナスイメージになり、地域住民にも妥協を求めるという、誰も得をせず三者が損をしてしまう|議させていただきます。 構造になってしまったと思います。ここで「規制値は現行のままとし企業努力で騒音を抑えます」という ことになれば、三方良しの結論になりませんか。企業に対する印象はプラスに転じ、企業としても CSR 理 念の実践事例として社会へのアピール材料になると思います。企業側とそのような交渉をすることを提案 します。無論、企業努力には費用や時間がかかるでしょうし、楽観視はできないと思いますが、説明会に よって本件が地域住民からマイナスイメージを持たれたことは、企業側にちゃんと伝えるべきです。その 上での結論なら、その経緯を聞いた上で受け入れざるを得ないと思います。

企業誘致活動は厳しい交渉であり、まずは企業に来ていただくことが最優先であり、ありがたいこと でもあるので、企業側との交渉ではある程度の譲歩は必要だろうし困難であろう、と想像はしますがその|だきます。 困難さが伝わってこなかったので、説得力がなかったです。30年ほど前に、当工業団地計画の説明会が進

準都市計画区域は土地利用の規制が主な目的であり、特定企業の利益のためだけに指定するものではご

ご意見については今後の参考にさせていただきます。企業努力による騒音の抑制については企業側と協

市の企業誘致業務にご理解いただきありがとうございます。ご意見については今後の参考にさせていた

出予定企業の出席の上で地元でなされたとき、私はその騒音規制について質問をし、納得の上で受け入れたことを記憶しています。地元に雇用の機会が増え、税収も見込める企業の進出には、なんら反対する理由はなくむしろ大歓迎です。今回の計画についても、納得の上で喜んで迎え入れたいと思っています。

個別の回答はなされないとのことで成り行きを見守るしかないし、今後の結果で判断するしかないのですがもし騒音規制値が緩和されることになるのであれば、近隣地域住民(上相場、長尾、本郷)へのあらためての説明会を要望します。

なお、藤原工業団地を準都市計画区域に指定し、工業専用の用途地域指定することについてはなんら異 論はありません。 説明会については地元自治会長様等と相談の上、開催の有無を検討させていただきます。

ご理解いただきありがとうございます。

以上